

決算議案委員長報告と 報告に対する反対討論

九月議会で各常任委員会に付託されていた「平成二十年度各会計決算議案委員長報告」が行われ、久永良一議員の反対討論の後、採決され、賛成多数で認定されました。委員長報告の要約文と討論の要旨を紹介します。

総務文教委員会

当委員会に付託された平成二十年度決算議案十件を審査した。一般会計決算議案のうち総務文教委員会の所管に属する事項については、市税の不納欠損等について質疑応答があり、審査の結果、全員一致で認定した。

公共用地取得事業特別会計決算議案、六件の各財産区会計決算議案及び二件の各奨学金特別会計決算議案は、審査の結果、全員一致で認定とした。

厚生委員会

平成二十年度決算議案五件を審査した。まず、「一般会計歳入歳出決算」のうち厚生委員会の所管に属する事項、「国民健康保険特別会計歳入歳出決算」、「介護保険特別会計歳入歳出決算」及び「後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算」は採決の結果、賛成多数で認定とし、「老人保健特別会計歳入歳出決算」は、審査の結果、全員一致で認定とした。

産業委員会

当委員会に付託された決算議案二件、継続審査中の議案一件を審査した。議案第二十五号では、平成二十年度事業の進捗状況や課題、今後の事業方針について質疑応答がなされた後、賛成多数で認定とした。議案

第二十七号については、審査の結果、全員一致で認定とした。また、継続審査中の議案第十八号についても、審査の結果、全員一致で原案のとおり可決とした。

建設水道委員会

決算議案七件について、十月二十日に委員会を開催し、慎重に審査をした。

議案第二十五号のうち建設水道委員会の所管に属する事項、議案第三十号、第三十一号、第三十五号、第三十六号、第四十四号及び第四十五号は、いずれも全員一致で原案のとおり認定と決した。

住宅新築資金等の収納や市営住宅の家賃の納付指導についての要望、並びに道路舗修や交通安全施設などの設置申請に早急な対応を要望した。

筋を通し間違った施策に反対

日本共産党津山市議員 久永良一



育、くらし、景気対策など、真に必要な事業、対策に適切な対応ができなかったいくつかの問題が決算の中にある。濟んだことだから「仕方がない」で、うやむやにしているなら問題がある。そこで、次の予算執行、施策に反対討論を行った。アルネ関係の三億七千万円、グリーンヒルズ関係の二億八千万円、後期高齢者医療制度関係三千万円、学校校務員の学校現場からの引き上げ、全国学力テスト参加、学校選択制、機構改革、苦田ダムを水源とする広域水道企業団負担金三億円、住基ネット関連四百四十三万円

市長、議会の判断、間違った施策により、今日、市民を苦しめたり、市の財政運営上でかなり支障が起き市民福祉や教